

第2章

中間評価の概要

第2章

森町健康づくりアクションプラン中間評価の概要

【1】中間評価の趣旨

森町では、「健康づくりアクションプラン」を平成24年3月に策定しました。この計画に基づき森町健康づくりプロジェクト委員会を中心として各関係機関等の参加、協働により取り組みを進めてまいりました。

策定から5年が経過し、今年度は計画の中間年にあたることから、今までの取り組みについて評価・見直しを行うとともに、健康づくりを取り巻く環境の変化も踏まえて後期計画を策定いたしました。

今後も「町民誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」を目的として、町民、行政、企業、学校、関係機関等が連携、協働し最終年度(平成33年度)の目標達成に向けてさらに健康づくりを推進してまいります。

【2】中間評価の方法

1. 評価の視点

中間評価では、結果(アウトカム)の評価だけではなく、各機関におけるこれまでの取り組みの経過(プロセス)やその効果や影響を評価することにも重点を置いて評価しました。

2. 評価指標と方法

(1) 目標の達成状況の把握

町民に対して実施した健康づくりアンケート及び協働する機関に対して実施したアンケート調査の結果や各機関の実状をもとに指標(目標)の達成状況を把握しました。

【森町健康づくりアンケート】

	対象(機関)	方法	期間	配付数	回収数	回収率
1	町民 (18~64歳)	郵送(1,000人無作為抽出)封書で返送(案内に返信封筒同封)	H28.5/20~ 6/10	1000	283	28.3
2	町民 (65歳以上)			1000	396	39.6
3	町職員	町職員閲覧サイトで依頼各課取りまとめの上返却	H28.6/2~ 6/10	—	434	—
4	農協職員	各機関、事業所を通じて担当者より配布及び回収	H28.5/12~ 6/10	33	28	84.8
5	森漁協職員			20	20	100
6	砂原漁協職員			21	20	95.2
7	事業所職員・従業員			280	124	44.3

※データは町民83人使用

	対象(機関)	方法	期間	配付数	回収数	回収率
8	幼稚園、 保育所保護者	各保育所・幼稚園を通じて保護者へ配布及び回収	H28.6/10~ 6/17	192	181	94.3
9	小学校 保護者	各学校を通じて保護者へ配布、封書で返送(案内に返信封筒同封)	H28.5/10~ 5/31	745	266	35.7
10	中学校 保護者			426	120	28.2
11	高校生徒	学校を通じて生徒へ配布、実施及び回収	H28.5	264	246	93.2

(2) 取り組み状況の把握

中間評価では達成状況の評価だけでなく、取り組み状況を経年的に比較、目標の達成状況に関連させながら評価を各機関ごとに行いました。また、計画推進組織「森町健康づくりプロジェクト委員会」の検討会議において各分野の取り組みや課題、今後の取り組みについて協議しました。

【3】全体的な評価

1. 目標達成状況の評価

子ども・成人・高齢者の各世代における課題別の目標達成状況を各機関ごとに評価し、全体の達成状況をまとめました。

達成度	達成状況 全体の割合	状況の例
○ 目標を達成した (1%以上の改善)	39%	・幼児のう歯数 ・成人の喫煙(町民以外)
△ 変化があまり見られない (1%以内の改善あるいは悪化)	19%	・小・中・高校における虫歯の 処置完了者
× 目標を達成できていない (1%以上の悪化)	41%	・子どもの肥満(高校以外) ・成人の肥満(事業所以外)
— 評価困難	1%	
合 計	100%	

◆達成度:計画策定時と現状値(直近値)で比較しています

2. 取り組み状況の評価

子ども・成人・高齢者の各世代の課題別の取り組み状況を機関毎に評価し、全体としてまとめました。

達成度	達成状況 全体の割合	取り組みの例
◎ 取り組み年数3～4年	49%	・幼児向け肥満度表シール
○ 取り組み年数1～2年	27%	・適正飲酒量等の啓発
△ 類似した取り組みをしている	6%	・町の歯科検診取りまとめ
× 取り組んでいない	18%	・高齢者の出店等の体制づくり
合 計	100%	

3. 中間評価の総評 ～今後に向けて～

アンケート調査や保健データ等を策定時と比較して概ね4割程度が目標を達成しています。

各機関においては、約半数が毎年アクションプランに取り組んでおり、策定時から5年間のうち、1～2年間は取り組みがなされたプランも含めると約8割程度は取り組みを実施しているという状況です。

目標が達成できたものについては、それらの取り組みの成果とも言えます。具体的には子供のう歯が減少したこと、保護者の喫煙率が減少傾向にあること、成人の喫煙率が減少したこと、育児ストレスをよく感じる人が減少したことなど一定の成果が表れています。

しかし、子どもでは生活習慣の改善は見られたものの、肥満者が増えていること、成人については生活習慣の改善も十分とはいえず肥満者も増えていること、飲酒や成人の口腔状態、健診受診率においてはほぼ現状維持で改善は見られていない結果となっています。

また、策定時より改善は見られたものの喫煙率は非常に高い状況で、特に30代、40代の子育て世代が高い喫煙率、女性における高い喫煙率が大きな課題と言えます。

今回のアンケートで「健康づくりアクションプラン」を知っている人が30%以下と低率だったことから、最終年度に向けてアクションプランについての周知を図り、実際の取り組みを通じて一部の機関においては、理解度のアンケート調査を適宜行いながら、効果的な周知・啓発方法の工夫により多くの町民が「健康づくりアクションプラン」の内容を知り、ひとつでも自分に合った健康づくりの取り組みを実践して行けるように、健康づくりプロジェクト委員を始め関係機関・団体との連携・協働を強化しながらプランを推進して行きます。

【4】中間評価の経過

年月日	内 容
平成28年 5月～6月	○健康づくりアンケート調査の実施 ・幼稚園保育所、小中学生保護者・高校生 ・19～64歳の町民・65歳以上の町民 ・町職員・農協、漁協、事業所職員及び従業員
7月	○プロジェクト委員会打ち合わせ会議 健康づくりアンケート調査結果報告及び分析
8月	○各機関との協議（14機関） 健康づくりアンケート調査結果の分析
9月8日	○プロジェクト委員会打ち合わせ会議 齊藤恭平教授より計画へのアドバイス等
10月～11月	○各機関との協議（14機関） 各機関の今後の取り組み内容等について ○係内打ち合わせ（4回） 中間評価を踏まえた今後の取り組みについて
11月30日	○プロジェクト委員会打ち合わせ会議 町、組織としての今後の取り組みについて
12月	○係内打ち合わせ 町、組織としての今後の取り組みについて
平成29年 1月24日	○プロジェクト委員会打ち合わせ会議 中間評価（案）について 今後の取り組みについて
1月	○係内打ち合わせ（3回） 町、組織としての今後の計画推進について
3月	○森町健康づくりアクションプラン中間評価冊子完成

※他、実務担当者による協議20回程度実施

【5】計画推進組織「森町健康づくりプロジェクト委員会」

	氏 名	内 容
1	齊 藤 優 香	森町若妻サークル連絡協議会(会長)
2	新井田 直 美	森町立保育所(鷲ノ木保育所長)
3	下 村 由貴子	森町立幼稚園(さわら幼稚園園長)
4	伊 藤 幸 枝	森町養護教員会(砂原中学校養護教諭)
5	橋 本 晃 子	森高等学校(教諭)
6	小笠原 友莉亜	新函館農業協同組合 森基幹支店
7	森 田 智 幸	森商工会議所(中小企業相談所 相談所長)
8	川 村 光 夫	砂原商工会(事務局長)
9	目 黒 義 昭	株式会社ニチレイフーズ森工場(総務部マネージャー)
10	天 池 由 香	株式会社丸太水産
11	吉 田 志 保	株式会社ワイエスフーズ
12	濱 野 尚 史	森町(総務課長補佐兼人事厚生係長)
13	東 谷 秀 幸	森漁業協同組合(総務部 部長)
14	長 内 譲 二	砂原漁業協同組合(総務部 主査)
15	佐 藤 真喜子	森町健康推進委員会(委員長)
16	吉 田 美 子	森町食生活改善協議会(会長)
17	小笠原 靖 浩	森町社会福祉協議会(主事)
18	深 川 節 雄	森町老人クラブ連合会(会長)

平成29年1月末現在
アドバイザー

東洋大学 ライフデザイン学部 健康スポーツ学科 教授 齊藤 恭平